

最新型 I C T グレーダを初導入！時代の進化を実感！

福島県でいち早く導入！
舗装工事の課題を克服したい

■ ■ 現場詳細 ■ ■

福島県伊達郡川俣町

震災からの復興と帰還を加速させるための
ふくしま復興再生道路の整備をする工
事

【施工範囲】延長340m

面積2,600m²【施工土量】19,200m³

【 I C T 建機】

GD405 (I C T 施工機器装着車)

■ ■ 導入経緯 ■ ■

菅野建設工業(株)土木本部 土木部

工事課長 石川清徳さん

これまで I C T をはじめ、様々な新技術
に会社全体で積極的に取り組んできました。
今回、舗装工事を施工するにあたって
高い技術力が必要となるため、出来栄
えが満足いくものになるかという課題が
ありました。そこで、最新型の I C T グ
レーダを使用して、課題を克服しよう！
やってみっぺ！のチャレンジ精神で導入
を考えました。今のところはオペレータ
も作業員も足りてはいますが、5年先を
考えると人手不足が顕著になると考えら
れるので、先を見越しても活用する意義
があると思い導入を決めました。



当現場に75インチデジタルサイネージを設置



代表取締役 菅野泰助さん



土木本部 土木部 工事課長

石川清徳さん

福島県

菅野建設工業(株) 様

■ 品質方針 ■

当社は「高品質」こそお客様の
信頼を得る基本と考え、
品質追求の輪を広げます。

■ 環境方針 ■

当社は環境保全の重要性を認識し、
地域・地球環境の維持向上に努めます。

掲載月:2021年4月

I C T 建機で課題を克服！
均等で高精度な施工が実現

■ ■ 導入効果 ■ ■

菅野建設工業(株)土木本部 土木部
工事課長 石川清徳さん

以前までのグレーダは立位姿勢で操作する
のが当たり前でしたが、新型グレーダ
は座って操作ができるようになり、オペ
レータの疲労軽減に繋がりました。オペ
レータは30代前半の中堅オペレータで
したが、自動制御によって複雑なブレ
ード操作が少なくなり、慣れてしまえば
とても楽に施工できたと話していました。
従来施工では、5mピッチで丁張りをか
けるためオペレータの感性やセンスによ
って出来栄が変わりますが、I C T 建
機による施工では若年層オペレータでも
全体的に均等に綺麗に仕上げることで
き、従来施工にはない出来栄の良さを
実感しました。また、設計面から+
25mm等、任意の数値を入力できるオフ
セット機能を使って、締固めによる沈下
量を想定しながら施工を進めることが
できました。これからも高い費用対効果が
出ることに期待をもって、時代の最先端
技術にチャレンジしていきたいと思いま
す。

